

Good **Chemistry** for Tomorrow

人、社会、そして地球環境のより良い関係を創るために。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

株主確定基準日(1)定時株主総会 3月31日
(2)期末配当金 3月31日
(3)中間配当金 9月30日
その他必要あるときは、あらかじめ公告して
基準日を定めます。

公告の方法 電子公告の方法により行います。
但し、電子公告によることができない事故
その他のやむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞に掲載いたします。
◎公告掲載URL
(<http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/ir/index.html>)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
(〒100-8212)
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

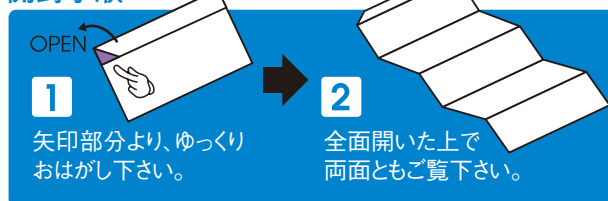
郵便物送付先及び
電話お問合せ先 東京都江東区東砂七丁目10番11号
(〒137-8081)
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル **0120-232-711**

住所変更、配当金振込指定・変更、
単元未満株式買取請求に必要な各用紙のご請求は

株主名簿管理人の
フリーダイヤル **0120-244-479**
※自動音声で24時間承っております。

開封手順



株式会社三菱ケミカルホールディングス

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)



株式会社三菱ケミカルホールディングス

IR NAVI

アイアール ナビ

株主の皆様へ **vol.10**
第4期 第1四半期のご報告
(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

第1四半期業績の概況（連結）

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期（平成21年3月期）第1四半期の当社連結業績等につきまして、ここに「第1四半期のご報告 IR NAVI vol.10」をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成20年9月

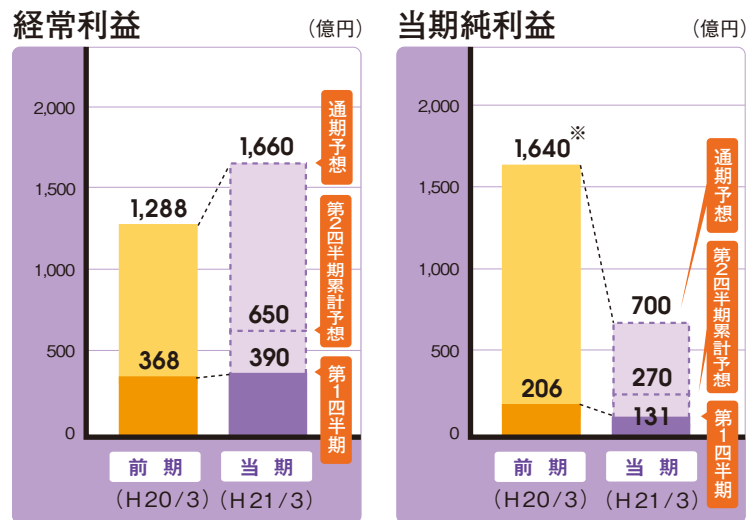
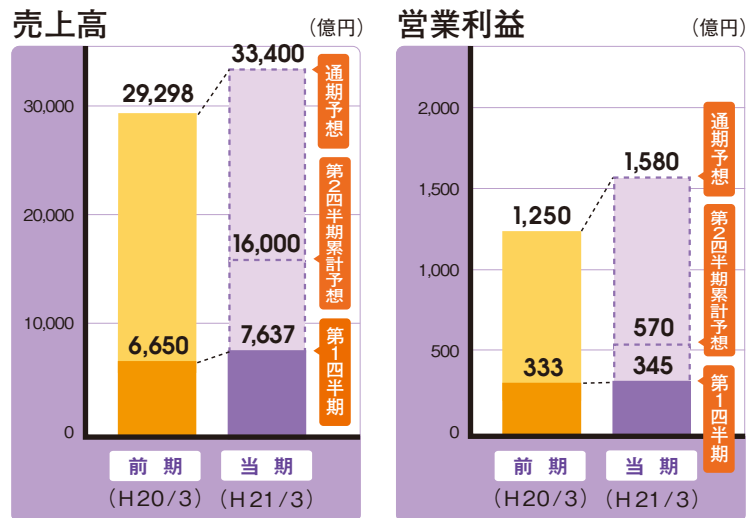
取締役社長 **小林喜光**

業績全般

当第1四半期（平成20年4月1日～平成20年6月30日）における日本経済は、原油等原燃料価格の高騰による企業収益の悪化や個人消費の伸び悩み等により、景気は減速傾向で推移しました。

当社グループの事業環境につきましては、石油化学製品を中心に、原燃料価格の高騰により厳しい状況となりました。また、医薬品等のヘルスケア分野におきましては、市場での競争が一層激化する中で本年4月に薬価改訂が実施されるなど、引き続き厳しい事業環境におかれましては。

このような状況下、当社グループの当第1四半期の売上高は、原燃料価格の高騰に伴う石油化学製品を中心とした製品価格の是正や、昨年10月の三菱ウェルファーマと田辺製薬との合併による田辺三菱製薬の発足等により、7,637億円となりました。利益面では、上記合併による利益拡大があったものの、原燃料価格の高騰等の影響を受け、営業利益は345億円、経常利益は390億円にとどまり、四半期純利益は、上記合併に伴う少数株主持分の増加により131億円となりました。



※ 特別利益として、田辺三菱製薬の発足に伴う持分変動利益1,175億円が含まれております。

業績予想の修正について

当期の連結業績予想につきましては、本年5月8日の決算発表時に公表いたしましたが、第2四半期累計の予想数値は、期初の予想を上回るナフサ等原燃料価格の上昇及び当第1四半期の連結業績動向等を踏まえ、本年7月31日の当第1四半期決算発表時に、上記の通り下方修正しております。なお、通期の予想数値につきましては、ナフサ等原燃料価格動向が不透明なことから、修正しておりません。

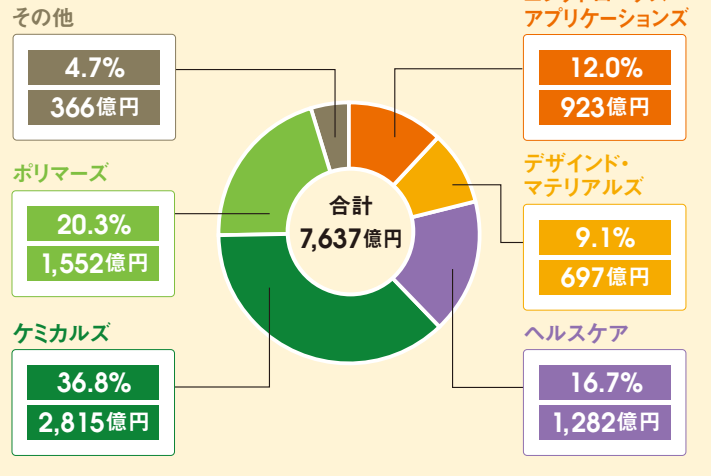
配当の状況

	1株当たり配当金(円)		
	中間配当金	期末配当金	年間
平成20年3月期	8	8	16
平成21年3月期**	(8)	(8)	(16)

** ()内の数値は、本年5月8日の決算発表時点で公表した予想数値であります。

セグメント別の業績

セグメント別売上高の構成比

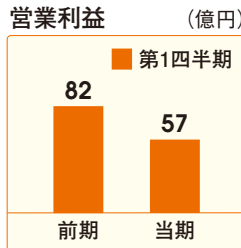


機能商品

●エレクトロニクス・アプリケーションズ (記録材料、電子関連製品、情報機材、無機化学品)

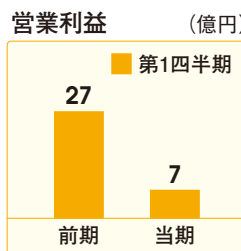
記録材料は、ポータブルハードディスク、フラッシュメモリー等の需要が拡大したものの、DVDの販売価格の低下により、売上は減少しました。電子関連製品のうち、ポリエステルフィルムは、液晶ディスプレイ用保護フィルム向け等を中心に堅調に推移しましたが、射出成形品は、販売数量の減少により売上は減少しました。OPCDラムやトナー等の情報機材は、販売数量が減少したことから、売上は減少しました。無機化学品は、堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は923億円となり、営業利益は57億円となりました。



●デザイン・マテリアルズ (食品機能材、電池材料、精密化学品、樹脂加工品、複合材)

食品機能材、電池材料及び精密化学品は、引き続き堅調に推移しました。樹脂加工品のうち、各種フィルム、複合フィルム及びシート製品は、いずれも堅調でした。



複合材のうち、炭素繊維等の産業資材は、前年同期並みの売上げとなりましたが、建設資材は、公共投資抑制の影響に加え、建築基準法の改正に伴う住宅着工件数の減少により、売上は減少しました。

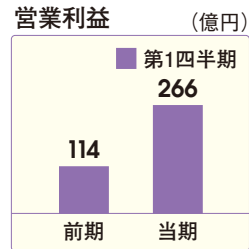
以上の結果、売上高は697億円となり、営業利益は、建設資材が低調であったことにより7億円となりました。

ヘルスケア

●ヘルスケア (医薬品、診断製品、臨床検査)

医薬品は、田辺三菱製薬の発足による事業規模の拡大に加え、抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤「レミケード」、抗血小板剤「アンブラグ」、アレルギー性疾患治療剤「タリオン」、麻しん風しん混合ワクチン「ミールビック」の伸張により、売上は増加しました。診断製品及び臨床検査は、いずれも順調に推移しました。

以上の結果、売上高は1,282億円となり、営業利益は266億円となりました。

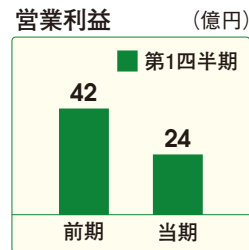


化学品

当分野においては、石油化学製品の基礎原料であるエチレンの製造設備における定期修理が第1四半期に集中するため、当第1四半期における生産量及び利益は他の四半期を下回る水準で推移しております。

●ケミカルズ (基礎石化製品、化成品、合成繊維原料、炭素製品、肥料)

石油化学製品の基礎原料であるエチレンの生産量は、昨年12月に発生した三菱化学鹿島事業所第2エチレンプラントでの火災事故の影響等により、22万4千トンと前年同期を25.9%下回りました。基礎石化製品、化成品及び合成繊維原料は、国内外の需要が引き続き堅調に推移する中で、原燃料価格の高騰に伴う製品価格の是正があったものの、日本ポリエチレンの連結子会社化により、従来計上されていた同社へのエチレン等の売上げが、連結会計上内部消去さ



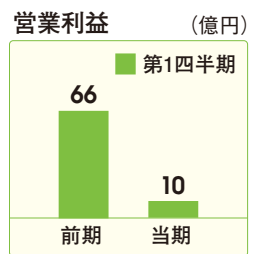
れることとなったため、売上は減少しました。炭素製品のうちコークスは、国内の鉄鋼需要が堅調に推移する中で、原料炭価格高騰に連動した製品価格の上昇により、売上は大幅に増加しました。肥料は、需要が低下傾向にある中で、生産受託の実施や原燃料価格の高騰に伴う製品価格の是正により、売上は増加しました。

以上の結果、売上高は2,815億円となりましたが、営業利益は、原燃料価格高騰等の影響により24億円となりました。

●ポリマーズ (合成樹脂)

合成樹脂は、日本ポリエチレンの連結子会社化に加え、原燃料価格の高騰に伴う製品価格の是正により、売上は増加しました。

以上の結果、売上高は1,552億円となり、営業利益は、原燃料価格高騰等の影響により10億円となりました。



セグメントの変更について

当社グループの事業は、従来、「石化」、「機能化学」、「機能材料」、「ヘルスケア」及び「その他」の5つの事業の種類別セグメントに区分しておりましたが、当期を初年度とする3か年の中期経営計画「APTSIS 10」において新たに定めた事業毎の基本戦略に沿って、当第1四半期から、経営実態をより明確に表示するため、「エレクトロニクス・アプリケーションズ」、「デザイン・マテリアルズ」、「ヘルスケア」、「ケミカルズ」、「ポリマーズ」及び「その他」の6つの事業の種類別セグメントに区分し直しました。

平成20年3月期まで		平成21年3月期以降	
事業分野	セグメント	事業分野	セグメント
石化	石化	機能商品	エレクトロニクス・アプリケーションズ デザイン・マテリアルズ
機能商品	機能商品 機能化学 機能材料	ヘルスケア	ヘルスケア
ヘルスケア	ヘルスケア	化学品	ケミカルズ ポリマーズ

特集 セグメント紹介

エレクトロニクス・アプリケーションズ デザイン・マテリアルズ

「エレクトロニクス・アプリケーションズ」と「デザイン・マテリアルズ」の2つのセグメントでは、当社グループの特徴のある技術の融合とマーケティングを強化し、成長性の高い市場分野において、顧客のニーズにあった高機能で高付加価値な製品群の創出と事業の一層の拡大を図っています。

平成20年3月期営業利益

平成23年3月期営業利益(目標)



主力製品群

エレクトロニクス・アプリケーションズ



記録メディア

世界でトップクラスのシェアの光記録・メディア事業を中心に事業展開を加速



電子機器部材

樹脂、金属等の加工技術で情報電子分野の様々なニーズに対応



イメージング部材

専業メーカーとしてレーザープリンタ等向けOPCDラムや重合トナーで世界シェアNo.1



当社グループは、「エレクトロニクス・アプリケーションズ」、「デザイン・マテリアルズ」、「ヘルスケア」、「ケミカルズ」及び「ポリマーズ」の5つの事業セグメントを柱として、中期経営計画「APTIS 10」に沿って事業活動を行っています。今号より、当社グループのこれらセグメントを紹介していきます。第1回は機能商品分野に属する「エレクトロニクス・アプリケーションズ」と「デザイン・マテリアルズ」の2つのセグメントです。



高機能ポリエステルフィルム

フラットパネルディスプレイ等向けとして信頼性の高い光学用フィルム事業を世界展開



半導体関連サービス

世界的に高い評価を受けている半導体の精密洗浄サービス

デザイン・マテリアルズ



アルミナ繊維

高度な無機材料設計技術により高機能な素材を実現



炭素繊維及び複合材

ビッチ系炭素繊維として世界シェアNo.1



食品機能材

幅広い用途で使用される食品用機能性素材



機能性包装フィルム

幅広いニーズに応じた多様な機能を実現

このほか、今後のさらなる成長を実現するために、「エレクトロニクス・アプリケーションズ」では、**固体照明、次世代ディスプレイ、有機太陽電池**、「デザイン・マテリアルズ」では、**リチウムイオン電池材料、自動車用軽量化素材、バイオポリマー**というそれぞれ近未来において市場の拡大が期待される分野において、技術・製品の開発、早期事業化に積極的に取り組んでおります。

株券電子化について

平成21年1月に実施が予定されている株券電子化に伴い、株主様の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されることとなり、株券は無効となります。

株券をお持ちの株主様

株券はご本人名義になっていますか？

※株券の裏側をご確認下さい。

はい
いいえ

お手続きは不要です

なお、証券会社を通じて「証券保管振替機構(ほふり)」に株式を預託されますと、電子化後も株式をスムーズに売買することができますのでご利用下さい。

名義書換が必要です

株主の権利を失う可能性があります。名義書換の手続きについては、早急に当社株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行 証券代行部(0120-232-711)までお問合せ下さい。

「証券保管振替機構」にお預けの株主様

お手続きは不要です

単元未満株式の買増・買取制度について

当社では、単元未満株式(500株未満の株式)の買取りのほか、買増しを請求できる制度も導入しておりますので、単元未満株式をご所有の株主様は、ご検討の上ご利用下さい。なお、本年9月10日から9月30日までの間は、当社株式取扱規則に基づき、買増請求のお取扱いを停止しておりますのでご注意下さい。

単元未満株式は、そのままご所有いただいてもご本人名義になれば、電子化後もその権利を失うことはありませんが、**買増制度を利用され、証券会社を通じて「証券保管振替機構(ほふり)」に株式を預託されますと、電子化後も株式をスムーズに売買することができますのでご利用下さい。**

名義書換、証券保管振替機構への預託のお手続きはお早めに!

株券電子化の直前は証券保管振替機構への株式の預託が制限されており、また、株券電子化の時期が近づいてきますと、信託銀行や証券会社の窓口が混雑することが予想されますので、お早めにお手続き下さい。

ホームページアドレス

当社は、インターネットにホームページを開設し、最新の企業情報を幅広く提供しております。
<http://www.mitsubishichem-hd.co.jp>